

2025年11月14日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

ＪＡ前橋市は、地域に根差し、地域と一緒に成長する経済的事業体として、組合員・地域住民と共生してゆくために、地域の「食」と「農」を守り、豊かな「暮らし」と「まちづくり」に貢献し続ける事を理念としています。

- 当組合は、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合（JA共済連）が共同で事業運営しております。

前橋市農業協同組合

# I.取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

### (1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)】

- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- ・ 組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

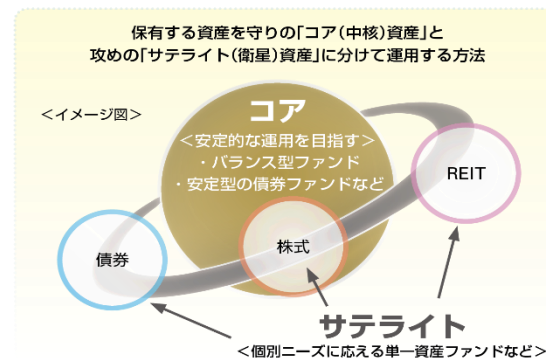
#### <投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	6 (前年度末:3)
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:7)
REIT型	1 (前年度末:1)	2 (前年度末:1)
バランス型	7 (前年度末:7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

#### <商品選定の考え方>

##### ② コア・サテライト戦略について



##### ② JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、  
国内の約 6,000 本の中から、

**JAバンクが独自の基準で**

長期投資に適した投資信託を厳選しました。

# I.取組状況

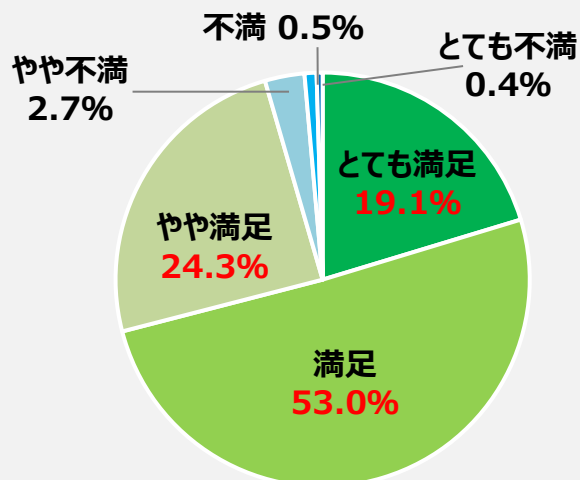
## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3、6、7）】

### （2）共済仕組み・サービス

- ・お客さまの暮らしや農業を取り巻く様々なリスクに備え、「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」の提供を通じて、豊かな生活づくりに貢献します。
- ・なお、金融商品の組成や市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は行っておりません。
- ・令和6年度のJ A共済満足度調査※1における総合満足度※2は96.4%となっており、高水準を維持しております。

令和6年度 J A 共済満足度調査における『総合満足度』



$$\text{とても満足} + \text{満足} + \text{やや満足} = 96.4\%$$

96.4%のご利用者さまから「とても満足」「満足」「やや満足」の評価をいただいております。

一方で、2.7%の「やや不満」、0.5%の「不満」、0.4%の「とても不満」のご回答もいただいております。ご利用者さまの声を真摯に受け止め、サービス改善の取り組みを徹底してまいります。

※1 J A 共済満足度調査は、J A 共済の仕組み・サービスをご利用いただいているお客さまを対象としたアンケート調査

※2 総合満足度は、「とても満足」「満足」「やや満足」の合計の割合（アンケートの回答は「とても満足」「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「とても不満」の6段階評価）

# I.取組状況

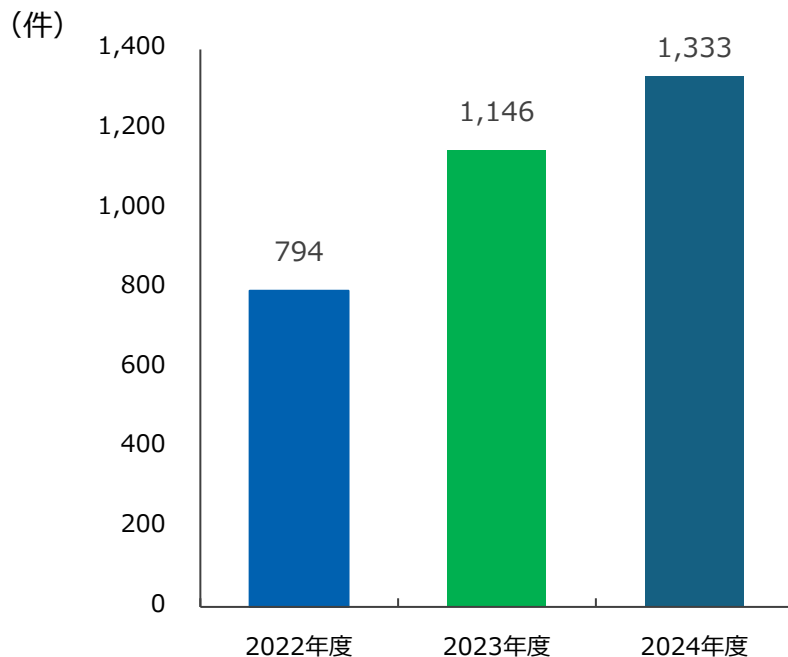
## 2 お客さま本位のご提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、  
原則6本文および(注1～7)】

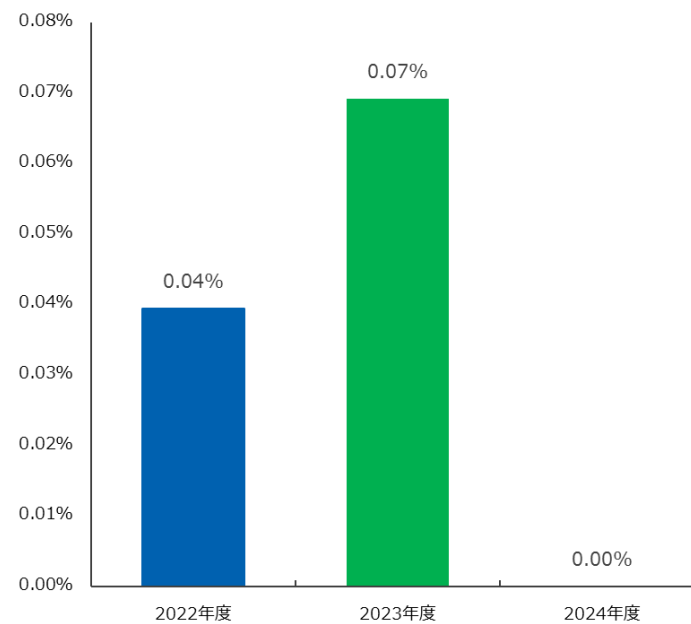
### (1) 信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、新NISAが始まったこともあり「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が0%になりました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



# I.取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供②

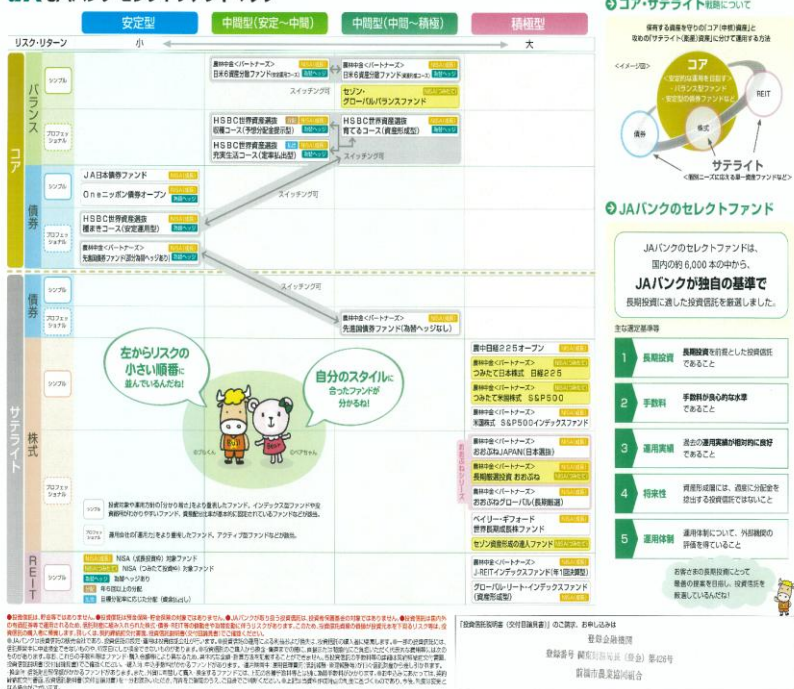
【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

### （1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用の上簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月より重要情報シートを導入しております。

### セレクトファンドマップ

#### JAバンク セレクトファンドマップ



### 重要情報シート

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（金融事業者編）

1. 当組合の基本情報（当組合はお客様に金融商品の販売【又は販売仲介】をする者です）			
組合名	前橋市農業協同組合		
登録番号	関東財務局長（登金）第426号		
加入協会	ありません		
当組合の概要を記したウェブサイト			
2. 取扱商品（当組合がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）			
貯金（投資性なし）	○	貯金（投資性あり）	—
国内株式	—	外国株式	—
円建債券	○	外貨建債券	—
特殊な債券（仕組債等）	—	投資信託	○
ファンドラップ	—	ETF、ETN	—
REIT	—	その他の上場商品	—
保険（投資リスクなし）	—	保険（投資リスクあり）	—
※他に其済を取扱っております。			
3. 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）			
<p>JAバンクでは、お客さまの様々なニーズにお応えするための商品をつぎつぎと、選びやすさも考慮し、一定の商品数に絞って「JAバンク セレクトファンド」をご用意しております。</p> <p>「JAバンク セレクトファンド」のラインナップは、主に以下の基準をもとに商品を選定しております。選定にあたっては外部有識者の知見も踏まえ検討しており、定期的な各商品の運用実績などのモニタリングも行ってまいります。</p> <p>①長期投資 将来の成長性に向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること（いわゆるテーマ型ファンドではないこと）</p> <p>②手数料 手数料が良心的な水準であること</p> <p>③運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること</p> <p>④将来性 これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては、過度に分配金を提出する投資信託ではないこと</p> <p>⑤運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること</p> <p>上記の考え方については、ホームページにも掲載しております。</p> <p><a href="https://www.jabank.org/sp/tameru/toushintaku/select/">https://www.jabank.org/sp/tameru/toushintaku/select/</a></p>			
<p>・なお、お客さまのニーズに対しては、JAバンクでは、都度組合員・利用者の皆さまのリスク許容度（※1）を確認し、リスク許容度に応じた個別商品をご案内しております。</p> <p>※1：リスク許容度は、ご自身の金動かしを許容できるかを事前に診断するもので、JAバンクでは、リスク許容度を4分類し、それぞれのリスク許容度に応じた複数商品をご用意しております。</p>			



# I.取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供③ 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### （2）共済の事業活動

- 公的保険制度についての情報提供

お客さまのライフプランに応じて、共済加入の判断要素となる各種公的保険制度等にかかる情報提供をわかりやすくかつ丁寧に行っております。

- 意向把握・確認や重要事項説明の実施

お客さまの抱えるリスクに対するご意向を的確に把握・確認し、真に満足いただける最適な保障・サービスのご提案を行っております。

また、保障のご契約をいただく際は、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、重要事項説明（契約概要、注意喚起事項）をわかりやすくかつ丁寧を実施しております。

#### 公的保障ガイドブック



#### 意向確認書

#### 重要事項説明書



# I.取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供④ 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### （2）共済の事業活動

- ・ ご高齢のお客さまへの丁寧な対応に配慮した取組み

ご高齢のお客さまへのご提案およびご契約時には、より丁寧なご説明とご家族の同席等を徹底し、ご家族を含めて十分にご理解いただけるよう努めております。

なお、令和6年度のご高齢のお客さま対応におけるご家族・ご親族等の同席の割合は69.0%となりました。

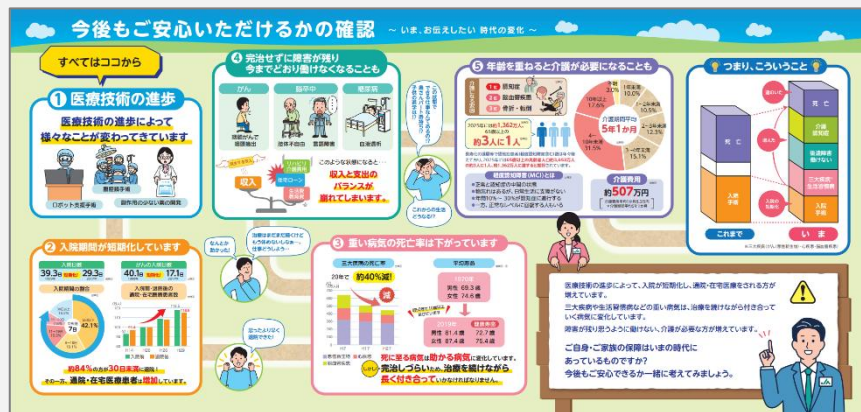
- ・ 各種手続きやアフターフォローの実施

当組合は、各種手続きの実施にあたっては、お客さまにわかりやすいご説明と迅速・丁寧な対応を心がけるとともに、より安心いただけるアフターフォロー活動(3Q活動)を継続的に実施しております。

なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまにご負担いただく手数料等はございません。

また、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

### 3Q活動 説明用資材



# I.取組状況

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- ・ お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等においてお客さまの利益を不当に害することが無いように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。
- ・ 金融商品の販売・推奨等における利益相反が生じやすい場面においては、「重要情報シート」の活用により利益相反が生じる可能性等について明示し、商品間の比較検討をして頂き易くなるよう努めております。

## 4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- ・ お客様の信頼を獲得し、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスをご提供できるよう、継続・定期的な研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- ・ 専門性の向上を図るため、外務員・内部管理責任者・営業責任者・FPを対象としたeラーニング受講や各種研修等、自己啓発環境の提供を行っております。
- ・ 人材育成に関して、信用事業では、専任課長・事務トレーナーを本所に配置し、渉外担当者・窓口担当者の育成・指導を実施し、運用会社等と連携した各種研修や勉強会を開催し、人材育成を行っております。
- ・ また、共済事業では専任課長・事務トレーナーを本所に配置し、満足いただける共済仕組み・サービスを提供できるよう継続的に研修を行い、ライフアドバイザー・スマイルサポーターの育成指導を行っております。

## 5 お客さまの声を活かした業務の向上・改善

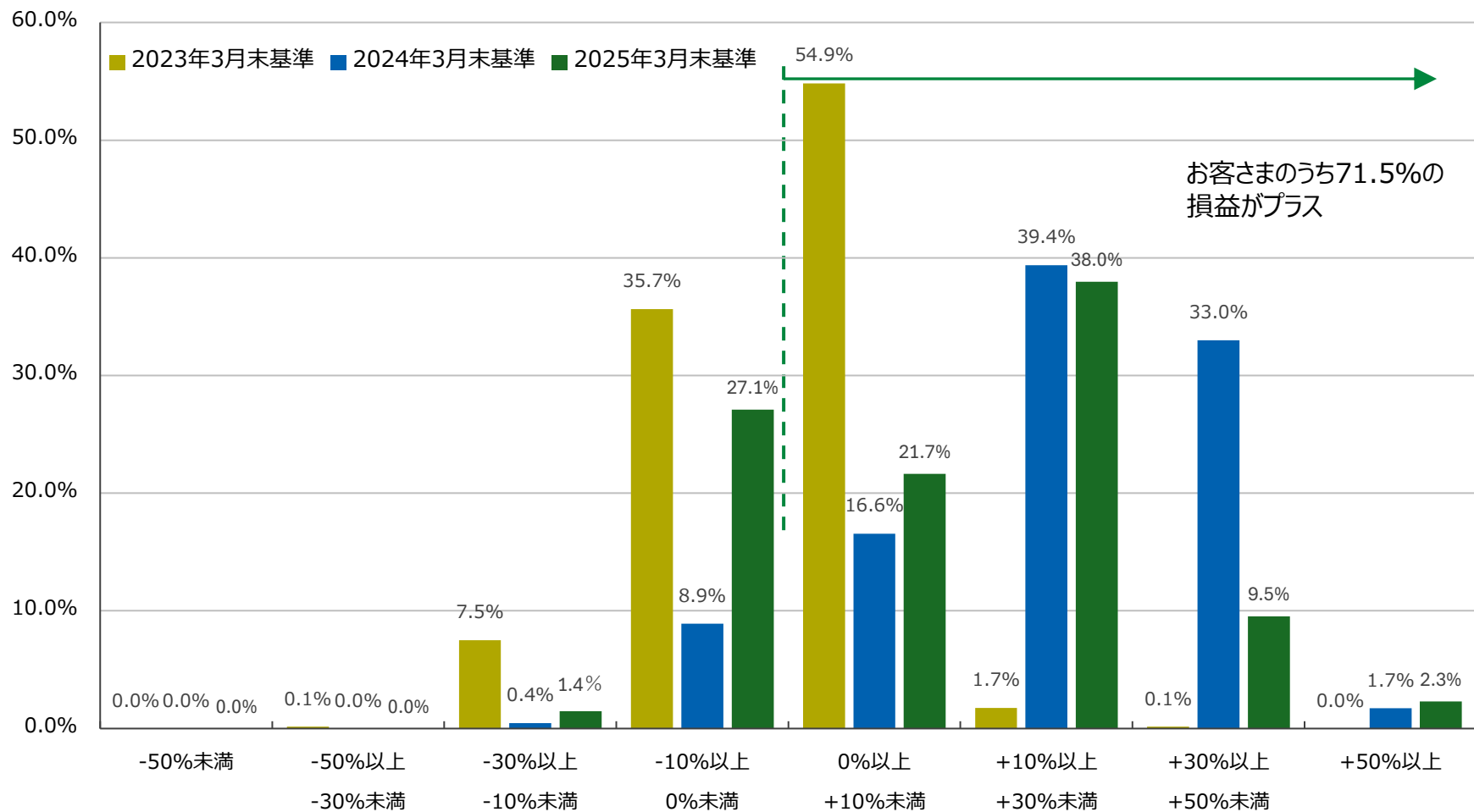
- ・ お客さまからいただく「お客さまの声」を真摯に受け止め、業務の向上・改善に努めております。



## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の71.5%のお客さまの損益がプラスとなりました。

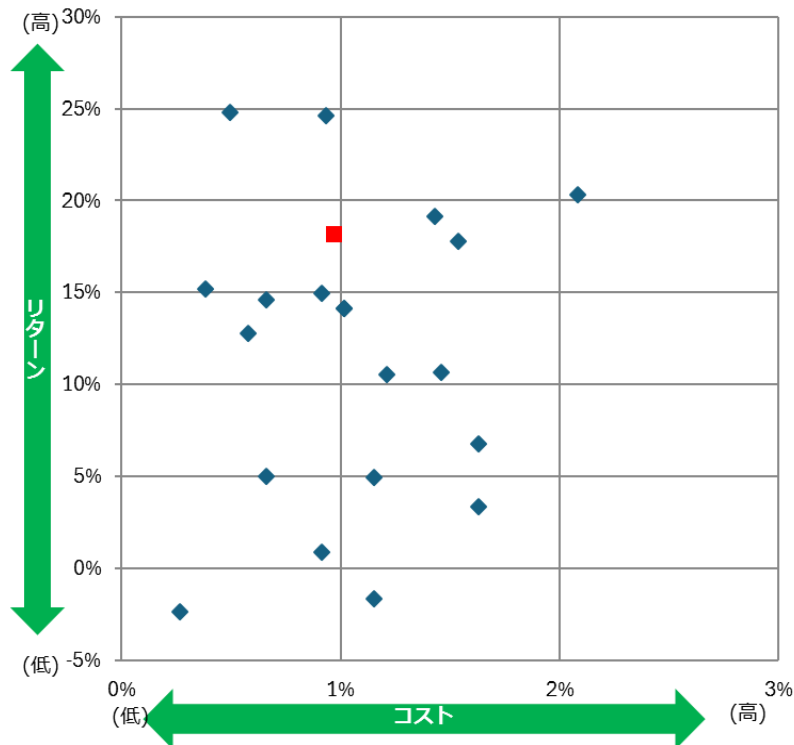


## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

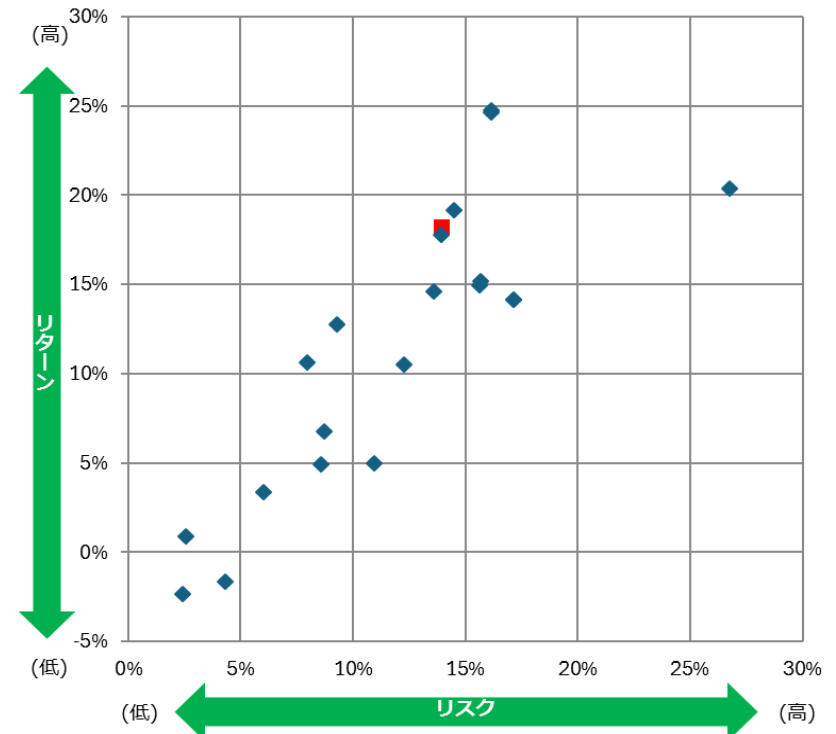
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.97%、平均リスク13.93%に対して、平均リターンは18.19%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

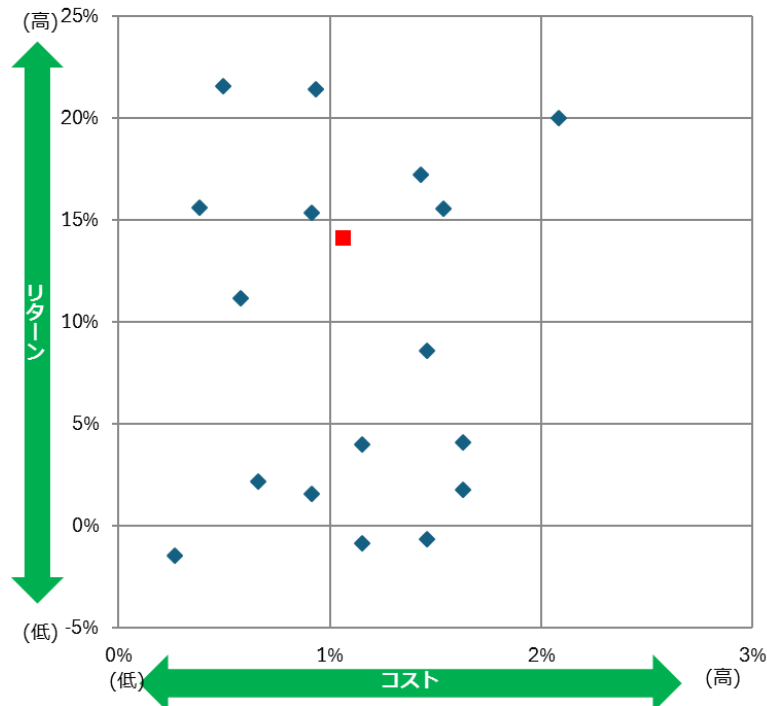
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

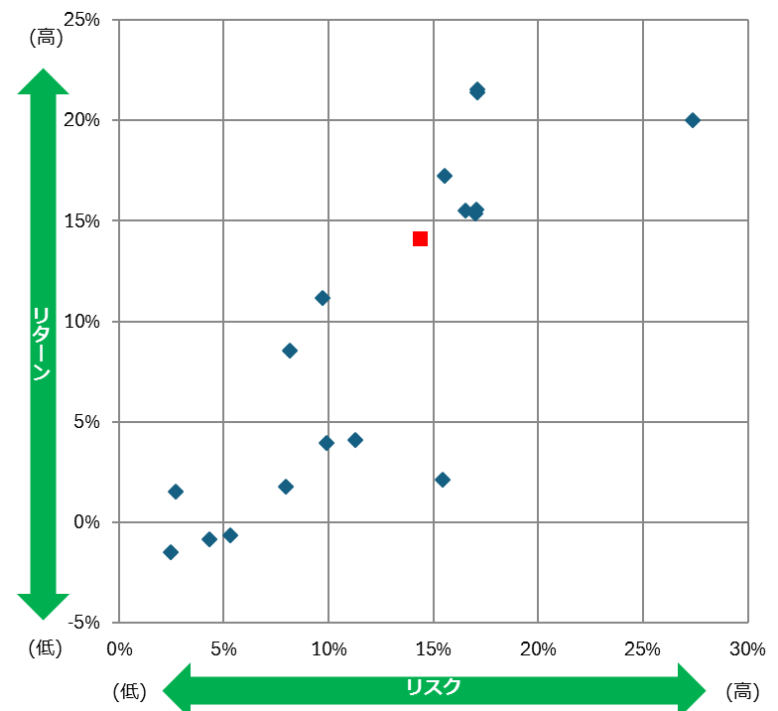
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.06%、平均リスク14.36%に対して、平均リターンは14.08%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



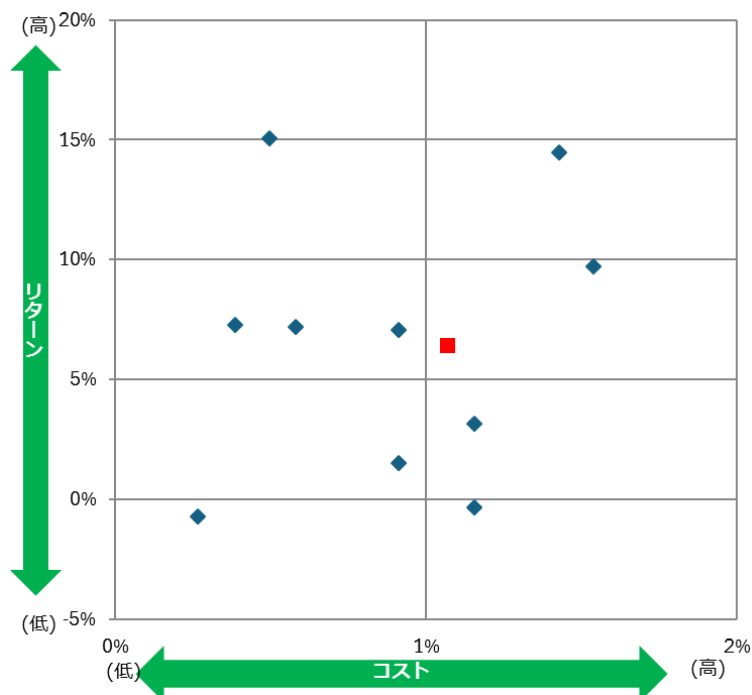
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

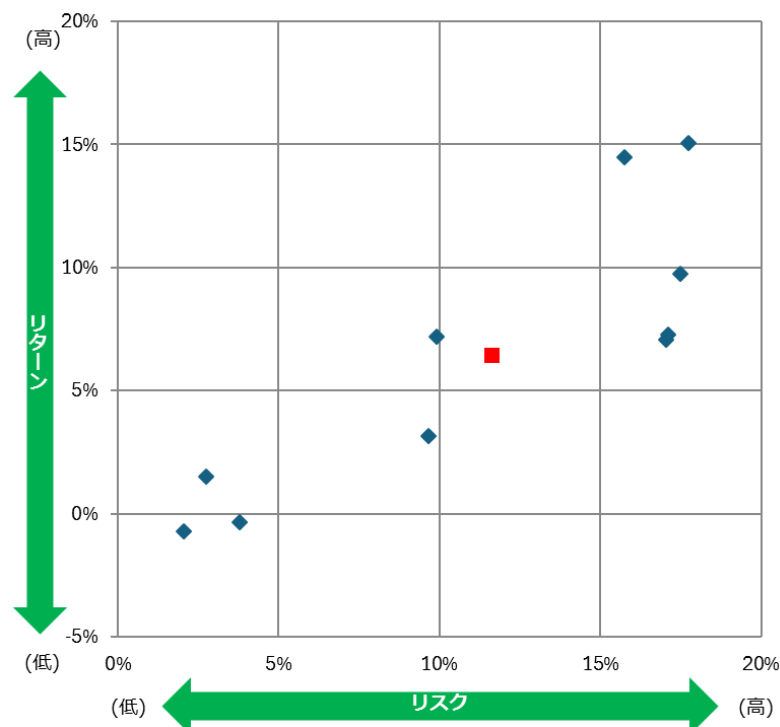
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.07%、平均リスク11.63%に対して、平均リターンは6.43%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
6	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
8	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
9	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
10	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
11	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
12	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
13	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
14	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	0.87%	2.57%	0.91%
15	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
16	J - R E I T インデックス (年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
17	グローバル・リート・インデックスファンド(毎月決算型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.14%	17.14%	1.02%
18	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	10.63%	7.96%	1.46%
19	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
20	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		18.19%	13.93%	0.97%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。



## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
3	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
6	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
8	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	19.98%	27.37%	2.08%
9	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.86%	4.33%	1.16%
10	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
11	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
12	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.73%	0.91%
13	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
14	J-R E I Tインデックス (年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	2.14%	15.44%	0.66%
15	グローバル・インカムフルコース (為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント (株)	8.56%	8.16%	1.46%
16	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.47%	2.46%	0.26%
17	グローバル・インカムフルコース (為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント (株)	-0.67%	5.31%	1.46%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		14.08%	14.36%	1.06%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド <sup>※</sup> (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
5	日米6資産分散ファンド <sup>※</sup> (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
8	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
9	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
10	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.43%	11.63%	1.07%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。